

# 2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【 島根県 】

学校名【 島根県立松江ろう学校 】

1 実践テーマ	①・II・III・IV⑤(複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	○本校幼児児童生徒 33名 幼稚部(5)・小学部(10)・中学部(9)・高等部(9) ○教職員 約50名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名( 自立活動 ) ② 行事名( 図書館まつり ) ③ その他( ) (2) 地域における活動 ① イベント名( ) ② その他( )
4 目標 (ねらい)	・代表生徒からおすすめの本を紹介してもらい、本に親しむきっかけを作る。 ・東京オリンピック・パラリンピックについて楽しく学ぶ。
5 取組内容	○「図書館まつり」にて調べ学習の成果を発表する。  東京オリンピック・パラリンピックを学ぼう!! 「松ろう図書館オリンピック開催」 ・聖火リレー ・オリンピッククイズ ・表彰式(正解者へ金メダル授与)



手作りの聖火を使って、幼稚部の園児が聖火リレーを体験。



高等部産業技術科の生徒が、購入図書やインターネット等を活用して、オリンピックやパラリンピックについて調べ、全校の前で発表した。



オリンピックのはじまりや目的、島根県出身のオリンピックやパラリンピアンについて、クイズ形式で楽しく学んだ。



幼稚部、小学部、中学部、高等部の幼児児童生徒と、教職員、付き添いで来ていた幼稚部の保護者が、一緒になってクイズに挑戦した。



正解した子どもたちには、手作りの金メダルが授与され、喜んでいた。

		<p>最後に、本校とつながりのある錦織圭選手に、応援のビデオメッセージを送ろうと、全員で「頑張ってください!」と大きな声でエールを送った。</p>
<p>6 主な成果</p>	<p>本校に通う幼児児童生徒は、聴覚に障がいのある子どもたちで、日常生活で耳から入る情報が少なく、興味関心のあること以外の情報を得にくい状況がある。</p> <p>今回オリパラ教育推進事業に取り組む前は、オリンピックやパラリンピックについても、興味がない子どもが多かったように感じる。</p> <p>調べ学習や発表、クイズ等を通して楽しく学び、今年行われるオリンピックやパラリンピックに注目し、「観戦に行ってみたい」「テレビで見てみよう」と発言する生徒もいた。</p> <p>また、地元出身でオリンピックに出場するかもしれない選手がおり、本校とつながりが強いことも知り、さらにもっとよく知りたいという気持ちが芽生えたことは、今回の取組で大きな成果だと感じた。</p>	
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>興味関心の少ないことについては情報を取得しにくい子どもたちに対して、いかに楽しみながら学習し、注目させるかについては何度も協議を重ね工夫した。</p> <p>幼稚部から高等部までの幼児児童生徒が楽しく学ぶために、聖火リレーやメダル授与の体験をしたり、クイズ形式で考えさせたりした。</p> <p>また、地元出身の有名な選手に応援メッセージを送ることで、スポーツに興味をもったり、選手との交流に期待したりするなど、興味関心をもたせることができた。</p>	
<p>8 主な課題等</p>	<p>オリパラ推進校として、年度途中からの取組であったが、購入図書を使って主体的な学びや体験的な学習ができたことは成果としてあげられる。しかし、年間の行事に加え、新たにオリパラ教育を実施したため、様々な面で調整不足や負担がかかった。</p> <p>年間の指導計画を十分に立てたうえで取り組むことで、より効果的な学習や体験が実施できたと考える。</p>	
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>今年度の反省や、来年度以降の学校行事等の兼ね合いから、事業実施は難しい。</p> <p>しかし、オリンピック・パラリンピックについて、様々な学習の中で取り上げ、購入図書を有効に活用していきたい。</p> <p>また、今後地元出身選手との交流が深まっていくことに期待する。</p>	